

こしき岩コース

大高竜亮

眼下に広がる橋湾。尾根に沿ったコースは地図から想像するよりずっとマイルドだ。長崎市内のパーマネントコースは訪れる人の期待を裏切らない。

こしき岩コース

長崎県 No.3 JOA 公認 No.166
10 km 10 ポスト

長崎市南東部、天草富岡港へのフェリーが発着する茂木港にほど近く、眼下に橋湾を見下ろす山間部に「こしき岩」コースは設置されています。

長崎駅前より長崎バス「飯香浦」行きで「日吉青年の家」下車徒歩 3 分。長崎市立「日吉青年の家」がスタート地点です。マップは事務所で入手できます。裏庭にあるマスターの管理も良好。昭和 48 年開設の歴史あるコースで、平成 9 年のマップ改訂に伴い、一部コース変更がなされました。

新旧のマップを見比べるとスタート地点の北西部、旧第 6 ポスト付近に貯水池が造成されているのが分かります。これにより開設当初からの OL コースが消失してしまったため、新コースはこれを回避。青年の家の南側を走る舗装道路を経由することになりました。回り順も従来の第 7~10 ポストが新しく第 1~4 に、旧第 6 の代替ポストが第 5、そして旧第 1~5 が新第 6~10 という形に組み直されています。

地図には一面みっちり等高線が描かれています。ただし、起伏の激しい一帯に設置されたコースにもかかわらず、急登が少なく殊の外きつさは感じません。スタート直後はそうとも知らず、しんどいコースになるであろうことを覚悟して第 1 ポストへ向かいます。すると、いきなり拍子抜けの下り坂。その後もゆるやかにアップダウンしながら小道が続きます。鞍部に到達すると、第 1 ポストに出会います。支柱だけが残る初代のポストの横にやや小型のポストが立っています。第 2 ポストは山のピークを迂回しながら尾根筋を

進みます。このあたりは青年の家での野外活動に頻繁に使われているようで、スイスイと歩いて行けます。ところが、ポストまであと僅かというところで、その野外活動の生徒向けに進入禁止の×印の表示が小道に立ちはだかります。オリエンティアには無関係のものです。この先へ進むと突如激しい蜘蛛の巣に見舞われます。パーマネントコースのみだとも違うものかと半ば閉口する瞬間でした。ほどなく第 2 ポストに到達します。ここにも初代ポストの残骸が転がっています。

へはただひたすら下ります。蜘蛛の巣を木の枝で振り払い続けなければならないのは面倒ですが、基本的には明瞭なルートが続きます。カーブに差し掛かったところで第 3 ポストに到達。

この先で一旦山を抜け出し、集落を経由して舗装道路を上り詰めます。山道よりもかえってこうした舗装道路の登り斜面の方が歩き難く、顎が上がります。道路同士の分岐近くに立木に埋もれるように立つ第 4 ポストを確認。

これ以降、しばらく続く今回の新コースで組み込まれた舗装道路は緩やかで中弛みの感があります。ここはのんびりと眼下の海の景色を楽しみましょう。第 5 ポストは道端であっけなく発見。青年の家入口手前の分岐を左に入り、道なりに下ると、更に進んで分岐からやや登ったところにあります。このあたりはテンゴ良く通過。尾根に出るまでが最後の登りです。

しばらくゆったりと歩いていたため、温存された体力で一気に登り詰めて行きます。第 8 ポストは尾根にある分岐の奥に隠れるように立っています。並行する 2 本の小道の合流点にある「飯飯神社」の鳥居近くに第 9 ポスト、展望台からの下りの道の曲がりに最終ポストがあり、間もなくゴールとなります。

長崎市内にある「稲佐山」コース、「岩屋山」コースも市教育委員会の尽力でしっかりと整備されています。いずれも期待を裏切らない好コースです。
(2001 年 10 月 7 日踏破)

